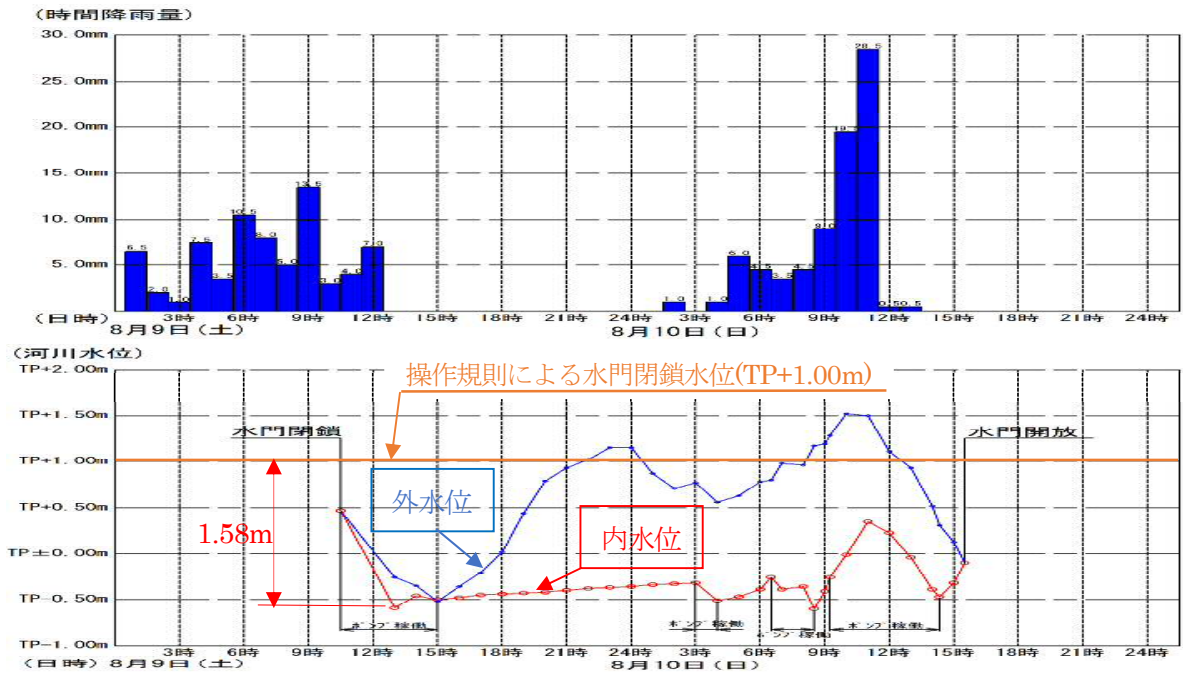


西汐入川排水機場の洪水調節効果

ー 8月9～10日の台風第11号豪雨において排水機場で内水位の調整を行いましたー
 姫路市では、洪水警報及び高潮警報が発表され1時間雨量(28.5mm)を観測した。
 そのため、堤内地への高潮対策と氾濫防止のため9日10時30分に水門を閉鎖しポンプにて
 内水を排水し水位を低下させた。その後、降雨状況でポンプの稼働と停止を繰り返し内水位を
 一定に保った。これにより、堤内地での水害を防止しました。

排水機場の降雨量と河川水位の変化状況



事前のポンプ稼働による内水位の低減効果

- ① ポンプ稼働により内水位を TP-0.58m (TP+0.47m→TP-0.58m) に低下させ、操作規則の TP+1.00m まで 1.58m の貯水範囲を確保した。
 (ポンプ稼働をしていなかった場合、最高水位は 1.20m 上昇し TP+1.67m に達したと想定される)

観測時間	水位の状況		摘要
	外水位	内水位 (水位低減効果)	
8/9 10:30	TP+0.45m	TP+0.47m (2cm 差)	水門閉鎖時 (9日 10:30)
8/10 10:00	TP+1.52m	TP-0.01m (153cm 差)	
8/10 15:30	TP-0.08m	TP-0.10m (2cm 差)	水門開放時 (10日 15:30)

(参考) 経緯

- 8月 9日 (土) 10:30 水門閉鎖
 13:00 姫路市「緊急体制」に入る
 21:30 水防指令 2号発令
- 8月 10日 (日) 11:00 最大雨量を観測 [28.5mm/1時間]
 14:00 降雨量が0になる
 15:00 姫路市「緊急体制」が解除
 15:30 水門開放